



## 事故報告

年月	時刻	性別	年齢	仕事内容	事故の型	概要	要	図番号
H30.09.26	13:00	男	68	一般作業 (屋外)	飛来・落下	刈払い機を使い2名で駐車場の草刈り作業中、駐車中の車両(距離=4m)の左側3列目ガラス及びドアを石ハネにより損傷させた(防護ネット不使用)		①
H30.09.28	9:30	男	75	技能(植木)	動作の反動・無理な動作	2m位の垣根をチェーンソーを使い根元から伐採中、右手だけでチェーンソーを操作していたこともあり、勢い余って左手首にチェーンソーの刃が触れ負傷した(手袋着用)(病院にて6針程度縫合)		②
H30.10.01	10:20	男	65	その他のサービス	蜂・犬・蛇等に刺され・噛まれ	犬の散歩作業中、帰ってきて犬を犬木屋に入れようとしたときに、左手首を犬にかまれて負傷した		
H30.10.01	14:30	男	72	技能(植木)	その他	脚立を使い、立木の頂部をバリカンを使い植木剪定中、誤って枝の陰にあった「光ファイバー線」を切断してしまった		③
H30.10.08	18:00	男	82	管理	その他	駐車場内において、カート整理のためカートを回収中に、駐車中の車両前部右側のヘッドライト下にカートが接触し、車両を傷つけてしまった。		
H30.10.10	14:00	男	68	技能(植木)	墜落・転落	8尺の脚立上で剪定はさみを使い、植木剪定をしていたが、手を伸ばして剪定しようとしてバランスを崩し、脚立の6段目から落下した(腰部骨折)。(3名で作業実施)		④
H30.10.19	11:30	男	72	技能(植木)	その他	敷地フェンス際の植木剪定作業中、フェンス際駐車場に停車中(フェンスと車両間は50cm)の車両とフェンスの間で小枝片付け中に、道具が車両と接触しフロント部分を傷つけてしまった。		

## ①飛び石による破損事故



防止対策  
1)防護ネット使用による防止  
2)車両を安全な場所に移動してもらう

## ③植木剪定中の切断事故

防止対策  
作業開始前に、現場の状況確認を必ず行い、障害物や重要なものは特に注意を払い、慎重に作業する



飛び石事故の要因としては、①『自分に限っては大丈夫』といった思い込みによる作業②『事故発生の可能性があるのに、対策もせず作業を実施』したということが挙げられます。刈払い機での作業時には、正しい刈刃の選定、防護ネットの使用などの安全対策をとり、事故を起こさないように配慮して作業をしてください。

## ②チェーンソーによる負傷災害

防止対策  
チェーンソーは体に近づけて保持する。切断樹木が細くても、片手操作はしないこと



## ④植木剪定中の転落災害

防止対策  
1)無理な姿勢での作業はしない(脚立をまめに移動して作業しやすい体制で実施)  
2)安全帯を着用する



## 編集後記

事故が多発しています。類似災害を起こさないよう、作業開始前の安全確認、作業中は安全確認を励行し、決して無理はしないでください。(安全委員会)